

〔実践事例1〕

単元名	描写に着目して読み、作品の見どころを推薦するポップを作ろう
-----	-------------------------------

■ 身に付けさせたい力（指導事項）

- ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。（読むこと ウ）
- ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の見方や考え方を広くすること。（読むこと オ）

■ 教材

「そこに僕はいた」 辻 仁成（東京書籍1年）

■ 言語活動

本単元では『中学校学習指導要領解説国語編』第1学年「C読むこと」の言語活動例の「ウ課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介すること」を参考にして、小説を読み、内容や表現を推薦するポップを作成するという言語活動を位置付けました。この言語活動を通して、描写に着目して読み、内容の理解を深めたり、自分の考えを広くしたりすることを指導します。

授業改善策の提案

授業改善の柱1

単元を通して生徒が自律的に学習を進めることができる学習課題の設定

■単元を通して課題解決をめざす言語活動を設定し、目的や意図に応じて文章を読ませる指導

単元の導入で、生徒が身に付ける力（描写に着目して読み、内容を理解する・作品の見どころについて自分の考えをもつ）と、そのために行う言語活動（本を推薦するポップを作成する）を示し、学習の見通しをもたせます。ポップを作成するという学習活動を通して、生徒に身に付けさせたい力を育成し、単元の授業過程を構成します。

《単元の学習課題》

「描写に着目して読み、作品の見どころを推薦するポップを作ろう」

単元構想具体化のポイント

- ・「学習用語」を生かした指導…描写
文章を読む視点として描写を取り上げます。単元の導入で描写の意味の共通理解を図ります。
- ・複数教材を用いた指導…既習教材の活用
小学校教材「サーカスのライオン」（東京書籍3年下）を用いて、描写に着目して読む練習を行わせます。既習の教材を用いることで、情景や心情を表す描写についての理解がしやすくなります。

<p style="text-align: center;">授業改善の柱2</p> <p style="text-align: center;">生徒の思考に沿った ワークシートの工夫</p> <p style="text-align: center;">■文章を読む視点を基に 分析的に読ませる指導</p>	<p>内容の理解に役立てるために、描写に着目して作品を読ませます。文章を読む際に、全文を記したワークシートを用い、登場人物の心情が表れた描写にマーキングをさせます。</p>
--	--

単元の目標

- (1) 人物の描写に着目して読み、内容の理解を深めることができる。
- (2) 書かれていることを基に、作品の見どころについて自分の考えをもつことができる。

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
① 作品の見どころを推薦するためのポップ作りに関心を持ち、意欲的に読もうとしている。	① 登場人物の心情や行動、情景描写に注意して読み、内容の理解を深めている。(エ)	① 文章を読んで語句の意味が分からない語を辞書で調べ、文脈上の意味を捉えている。 (イ(イ))

単元の指導計画（全5時間）

WS…ワークシート

次	時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法	単元のねらいと本時の関わり
第一次(導入)	1	1 これまでの読書活動を振り返る。 2 学習課題を設定し、学習計画を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 学習課題 描写に着目して読み、作品の見どころを推薦するポップを作ろう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 本時の目標：作品の見どころを見つけるために描写に着目して読もう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 推薦と紹介の違いを確認させる。 本単元で学んだことを生かし、自分のおすすめの本のポップを作成し、今後の読書活動につなげていくことを確認する。 	〔関・意・態〕 描写に着目して意欲的に文章を読んでいる。 【WS①：描写についての共通理解を図る】 【観察】 〔読〕 登場人物の心情が表れた描写にマーキングをしながら文章を読んでいる。 【WS②：マーキング】 〔言〕 【WS②：マーキング】 WS②は教材文の全文を1枚に印刷したものです。著作権の関係上、掲載はしていません。	本単元では、ポップを作成するという言語活動を設定し、作品を読んでいきます。しかし、ポップの作成が学習の目標ではありません。内容を理解し、作品の見どころを推薦するために、描写に着目して文章を読むことを学習する単元です。 そこで、本時の学習においては既習教材を用いて描写の意味を確認し、登場人物の心情が表れた描写に着目して読む練習を行います。
		3 作品の見どころを推薦するためのポップに必要な条件を知る。 4 既習教材を用いて、描写に着目して読む練習をする。 5 教材文を通読する。	<ul style="list-style-type: none"> 複数のポップのモデルを示し、比較することでポップに必要な条件を理解させる。 小学校での既習教材「サーカスのライオン」（東京書籍3年下）を用い、描写に着目して文章を読む練習をする。 描写に着目し、全文を一枚に印刷したワークシートにマーキングをしながら読ませる。 <div style="text-align: center; background-color: #90EE90; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 授業改善の柱2 </div>		<div style="text-align: center; background-color: #FFD700; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 授業改善の柱1 </div>

第二次展開	2	<p>本時の目標：人物の心情が読み取れる描写から、ポップに載せたい内容を整理しよう。</p> <p>6 人物の心情が表れた描写の中から、作品の見どころとしておすすめしたい内容を整理する。</p> <p>7 引用した描写とその描写を選んだ理由を基に、作品のキャッチフレーズを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マーキングした描写の中から、作品の見どころとしておすすめしたい描写を選ばせる。 ・作品の見どころとなる描写を引用し、その描写を選んだ理由をワークシートに書かせる。 ・キャッチフレーズの内容が、引用した描写、選んだ理由と関連するように指導する。 <p style="text-align: center;">授業改善の柱2</p>	<p>〔読〕 人物の心情が読み取れる描写と、その描写を選んだ理由を書いている。</p> <p>【WS③：根拠を示して自分の考えを書く】</p> <p>作品の見どころとして、おすすめしたい描写を基にキャッチフレーズを書いている。</p> <p>【WS③：根拠を示して自分の考えを書く】</p>	<p>人物の心情が表れた描写の中から、作品の見どころとしておすすめしたい表現を選び、ポップに載せたい内容をまとめます。その際、引用した描写、選んだ理由、キャッチフレーズが関連した内容になるように指導します。</p>
	3	<p>本時の目標：ポップに載せたい内容をグループで交流し、選んだ描写を基に作品の見どころを伝える内容になっているか検討しよう。</p> <p>8 グループでお互いのポップに載せたい内容の良いところをチェックリストを基に見付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の見どころとなる「描写」の引用 ・その表現を選んだ理由 ・キャッチフレーズ </div> <p>9 グループでの交流を基に、キャッチフレーズについて再検討する。</p> <p>10 交流を通して、変わったところを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポップに載せたい内容の良いところをチェックリストを基に見つけさせる。 ・チェックリストを基に、ポップに載せたい内容に着目させてコメントを書かせる。 ・作品の見どころを伝えるキャッチフレーズが書けているか、見直しをさせる。 ・交流前後の変化について理由を添えて発表させる。 	<p>〔読〕 ポップに載せたい内容が、選んだ描写を基にして関連した内容になっているか検討してコメントを書いている。</p> <p>【チェックリスト】</p>	<p>おすすめしたい描写の引用とおすすめする理由からキャッチフレーズを考えることができているかについて、交流をして検討させます。</p>

	4	<p>本時の目標：推薦したい理由が伝わるポップを完成させよう。</p> <p>11 自分が推薦したい内容が、ポップを見た人に伝わるように完成させる。</p> <p>12 完成したポップを読み合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポップに載せたい内容に工夫を加えてポップを作成させる。 ・本を読んだことがない人が手に取りたくなるようなポップを作成させる。 <p>《工夫点》 推薦したい理由を分かりやすく表現し、配置している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアまたはグループでポップを読み合い、工夫点についてコメントを書かせる。 	<p>〔読〕 本の見どころを根拠に、推薦したい理由が伝わるようにポップを仕上げている。 【完成したポップ】</p>	<p>第2時、第3時で取り上げたポップに載せたい内容を基に、推薦する理由が伝わるように工夫を加えてポップを完成させます。</p>
第3次（終末）	5	<p>本時の目標：ポップの特徴に触れて、描写や見どころの伝え方の良さを紹介しよう。</p> <p>13 5枚のポップの中から1枚を選び、そのポップの良さを他のクラスや他の学年の生徒へ紹介する文章を書く（120字）。</p> <p>14 見どころの伝え方の良さを伝える文章を読み合う。</p> <p>15 描写に着目した読み方を振り返り、作品を読み返す。</p> <p>16 単元の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポップの中に使われている言葉を使って120字で説明させる。 ・描写に着目して読むことで、内容の理解が深まったり、自分の考え方が広がったりすることに気付かせる。 ・着目した描写や作品の見どころを基に新たな視点で作品を読ませる。 ・自分がおすすめる本のポップを作成する課題につなげる。 	<p>〔読〕 描写や見どころの伝え方の良さについて、自分の考えを書いている。 【WS④：自分の考えを書く】</p> <p>WS④は120字で自分の考えを書くワークシートです。掲載はしていません。</p> <p>〔関・意・態〕 描写に着目して読み、内容の理解の深まりや考えの広がりを話したり書いたりしている。 【観察】【ノート】</p>	<p>単元で身に付けた描写に着目して読む力を基に、描写や見どころの伝え方の良さについて紹介する文章を書かせます。</p>

授業の実際

ワークシートから見る本単元の展開

【ワークシート①：描写についての共通理解を図る】 1時目の生徒の記述

○小学校での既習教材「サーカスのライオン」（東京書籍3年下）を用い、「描写」に着目して読み、登場人物の心情が読み取れる「描写」にマーキングをする。

（生徒のマーキング例）

- ・ **目を細くして受け取った。**
 - ①感情を表す言葉
(うれしい気持ち)
- ・ **まっしぐらに外へ走り出した。**
 - ②登場人物の行動・様子
(あわてて、一心に前だけを見ている様子)

※著作権の関係上、教科書の文章は掲載していません。

【ワークシート③：根拠を示して自分の考えを書く】 2時目の生徒の記述

○人物の心情が読み取れる「描写」を基に、ポップに載せたい内容を整理する。

② POPに載せたい表現（描写）を選んだ理由を書こう。

① マーキングした人物の心情が読み取れる「描写」から、POPに載せたい表現を引用しよう。

③ キャッチフレーズを考えよう。

引用した「描写」と、その「描写」を選んだ理由を基に、本を推薦するキャッチフレーズを考えよう

ワークシート③ 「本を推薦するためにPOPを作ろう」
一年組 5名前




（生徒A、Bの記述）

	生徒A	生徒B
1 ポップに載せたい表現	「ありがとう。」	「電車がその子猫に向かって迫りよった。あっ、と叫んだ瞬間には俺の体は踏切の中へ潜り込んでいったったい。」
2 ポップに載せたい表現を選んだ理由	今までなんでも1人で頑張ってきたあーちゃんは、負けず嫌いで助けてもらっても素直になれなかった。しかし、自然に僕が手を差し出すと、「ありがとう」という言葉が返ってきた。この言葉は、あーちゃんが初めて素直になれた瞬間で、友情を感じたから。	あーちゃんは、ただ負けず嫌いなだけだと思っていたけれど、話が進んでいくにつれて、優しい思いがあることが分かっていき、いつの間にか仲良しになっていくところがおもしろい。
3 キャッチフレーズ	「ありがとう。」この言葉の本当の意味とは？あーちゃんと僕の友情物語	僕の目には何が見えてきたのか？1つのきっかけから始まる友情物語！！

【チェックリスト】3時目

【チェックリスト】（グループ用）

- 1 「POPに載せたい内容」をチェックしよう
- 2 グループ全員のPOPをお互いにチェックしよう



さんのPOP

チェックした人		○×
1	作品の見どころとなる表現（「描写」）	
	作品の見どころとなる表現（「描写」）を引用しているか。	
2	選んだ理由	
	表現（「描写」）を選んだ理由が書かれているか。	
3	キャッチフレーズ	
	引用した表現（「描写」）とその理由を基にしてキャッチフレーズを考えているか。	
《コメント》		

チェックした人		○×
1	作品の見どころとなる表現（「描写」）	
	作品の見どころとなる表現（「描写」）を引用しているか。	
2	選んだ理由	
	表現（「描写」）を選んだ理由が書かれているか。	
3	キャッチフレーズ	
	引用した表現（「描写」）とその理由を基にしてキャッチフレーズを考えているか。	
《コメント》		



チェックリストはグループの人数に応じて準備をします。

【ワークシート④：自分の考えを書く】5時目の生徒の記述

○5枚のポップの中から1枚を選び、そのポップの良さを他のクラスや他の学年の生徒へ紹介する文章を書く（120字）。

【条件】(1) 「描写」や見どころの伝え方の良さについて自分の考えを書く。

(2) 100字以上、120字以内で書く。

(生徒の記入例)

・私がいいと思ったところは、「みんな同じ人間。義足を見られてもなんともない！」と書いてあるところです。ここでは、ポップを書いた人が、登場人物に感情を入れてあーちゃんになりきって表現している点がいいと思いました。(103字)

・キャッチフレーズの「自分のことは自分でやる」のところから読んでみたいと思い、選びました。この作品では、このポップを作った人が感動した部分をおすすめする理由にしている、この作品に対してどう思ったかを表現しているところがいいと思いました。(116字)



検証授業を振り返って

授業改善の柱1

■単元を通して課題解決をめざす言語活動を設定し、目的や意図に応じて文章を読ませる指導

単元構想の際には、本を推薦するためのポップを作ることを通して、描写に着目して読むことが毎時間の学習に生かされているかを意識して指導計画を立てました。

単元の導入で、小学校での既習教材を用いて、文学的な文章を読むための学習用語である描写に着目して内容を理解する学習の確認を行いました。描写の意味や用法について共通理解を図り、描写に着目して読む練習を行ったことで、生徒は学習活動の目的を理解し、見通しをもって学習に取り組むことができました。

ポップを作成するという言語活動が学習の目的にならないように、本時の目標を提示する際は、単元の学習課題に立ち返り、単元で身に付けさせたい力を確認できるようにしました。振り返りを行う場面においても、学習課題と本時の目標に対して振り返ることを継続して指導していくことが重要であると感じました。

授業改善の柱2

■文章を読む視点を基に分析的に読ませる指導

場面ごとに作品を読むのではなく、描写という視点を基に作品全体を通して読む指導を行いました。生徒は人物の心情が読み取れる描写に着目し、マーキングしながら文章を読み、内容の理解に役立てました。さらに、マーキングしたワークシートを基に、作品の見どころとしておすすめしたい描写を選び、ポップに載せたい内容を整理することができました。